company newsletter

VOL81 ダン吉＆べっこときどき新聞

2022.7　2022 ドライブ　あちこち　　発行元　小久保運送（有）/　かたづけダンべぇ0270-32-1542

流行病も沈静化しつつある昨今、〇〇キャンペーン等を利用して、人々が一斉に動き出してる感じです。行儀のよい日本人。パブリックな場ではマスクはまだまだ付けてますけど、一時の様な規制はありません。多少の不自由はあるけれど、どこへでも自由に行けるって良いな～とつくづく思う今日この頃です。そんな訳で、あちらこちらへお出かけ（ただのドライブですが）したので、外出のご参考にでもなればと思い記しますね。

まずは日光中禅寺湖。ルートは沼田から丸沼高原へ抜け、金精峠を超えて入るルート。実は丸沼高原スキー場へは、2020年の４月末頃一度来ています。当時はまだ緊急事態宣言下。車の外に出なければ良いだろうという体で、新緑を見たくて行きました。その際、金精峠はクローズ。でもスキー場やペンションの駐車場には、多くの県外ナンバーの車が止まってて驚きました。もちろん今回は通行可。途中、湯の湖や湯滝へ立ち寄りました。修学旅行のバスも来ていて、なんかホッとした次第です。もちろん中禅寺湖も良かった。

続いて志賀草津道路を草津からドライブ。湯釜は相変わらず立ち入り禁止だけど、弓池は散策できる感じでした。渋峠は人でいっぱい。横手山スカイレーターも動いてましたし、利用者の列ができてました。約３年ぶりに通りましたが、途中で25年前に宿泊した「旧志賀高原ホテル跡」も訪問。歴史記念館になっていたことに驚いた次第です。

で、最後は山梨県の「ハイジの村」へのドライブ。ここは群馬で言えば、フラワーパーク？旧ドイツ村？そこにアルプスの少女ハイジの世界をモチーフに、運営がなされている感じです。行ったのは６月ですから、バラ園がメインでした。

どこへ行っても大勢の観光客。流行病を乗り越えて、普通の生活が戻ってきたのかな？（TK）

HHP伊勢崎南から

2019年１月から設置しているホルミシス酸素カプセル。ガン等の大病の方を始め、色々な方にご利用頂いています。最近では、特に悪いところはないけれど「体のケア」をしたいということで、利用されている方も。利用後にお伺いしてみると、利用した日は良い眠りが得られたりと、ご自分なりの効果を実感したとのことでした。

１回２２００円（税込）約６０分。要予約。９時～19時の間で、入れる時間をご予約可（土は15時まで、日曜休）

電話　0270-32-1542（カプセルの件で）小久保まで

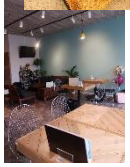
✔アイマップから「カフェ＆バー PINO」のご紹介

伊勢崎市民病院の北側のテナントに４月にオープンした**「Cafe &Bar Pino」**さんは、**わんちゃん連れでランチが楽しめるお店。**ちいちゃな看板犬が出迎えてくれます。ランチメニューは、メインが「パスタ○、お肉○、オムライス」の**ワンプレートスタイル**。手作りにこだわったカフェめしです。

人気のパスタはトマト系・クリーム系・和風etc・・・と、どれも麺にしっかり絡む旨味たっぷりのソースが持ち味。

お肉料理は、ロコモコ、唐揚げ、タコライス。「本日のおすすめメニュー」もあって（取材日はメキシカントルティーヤでした）すべてスープとドリンク付きで１３８０円！また**「わんこメニュー」**も用意されてます。マフィン、ハンバーグ、リゾットなど、こちらもすべて手作り。安心して食べさせてあげられますね。夜は、自慢のパスタや豊富なアラカルト料理をお供に、食事もお酒も気軽に立ち寄れるカジュアルな雰囲気。絶対に注文したいのは、秋田名産〝いぶりがっこ（燻製した大根の漬物）〟と、クリームチーズが入った**「ポテトサラダ６００円」**。ビールにも日本酒にもピッタリな大人のポテトサラダで、お店のイチオシです！

貸し切りにも対応しています。オシャレで、わんちゃん連れでのお客様もたくさんいらっしゃいます。美味しいカフェめしランチをお楽しみください。



「Cafe&Bar PINO」
住所：伊勢崎市太田町149-1　A-1
電話：0270-50-0809
11:30～15:00（LO14:00）
18:00～3:00（日曜ランチのみ）
水曜定休

出典「アイマップ」www.imap.ne.jp

ひとこと

先日、休日のドライブ中に昔の仲間からＬＩＮＥが入りました。何だろ？と内容を見ると、Ｍ君が亡くなった、とありました。Ｍは年に一度は会う昔からの友人。聞けば、昨夏突然倒れ、そのまま目覚めることなく逝ったとのことでした。

そこで初めて、１年前の正月以来、Ｍと連絡を取っていないことに気づいた私。それは、その他の仲間達も同じでした。流行病のせいで、いつもの飲み会や旅行が中止、延期していたことが災いしてました。

学生時代、毎日のように会い話し、時に議論し、そして熱く語りあったＭ。これまではこちらがその気になればいつでも会える、そして大切な仲間でした。が、それも今は叶いません。

我々は生きる先に死があるのではなく、常に死と隣り合っているのだと、思い知らされた出来事でした。会えるうちにあっておく。悔いの無いように生きる。年代によってでしょうが、大切なことだと思い知らされた今日この頃です。